

広沢だより



令和6年度11月臨時号

京都市立広沢小学校

《学校教育目標》未来に向かって、自分らしく笑顔で取り組む広沢の子
～何事にもしなやかで折れない心(レジリエンス)の育成～

学校評価アンケート結果のご報告

7月に「学校評価アンケート」を実施しました。児童はこれまでからFormsで行っていますが、今回は保護者の皆様にもFormsを活用して実施しました。保護者の皆様の回答率は83.6%と、たくさんの貴重なご意見をいただくことができました。成果と課題、さらに学校運営協議会の皆様よりいただいたご意見をあわせてご報告させていただきます。

「確かな学力」の育成に向けて

楽しい学校、確かな学力を目指して

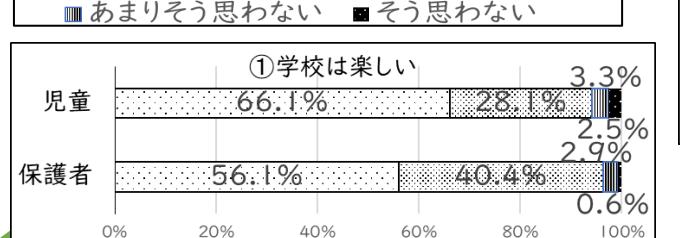
今回のアンケートでは、「学校は楽しい」「進んで学習に取り組んでいる」等、子ども達・保護者も「そう思う」「だいたいそう思う」という回答が多く、学習に意欲的に取り組んでいることが分かる大変うれしい結果です。

本校では、楽しくわかりやすい授業をめざして、「自ら進んで自分の思いや考えを伝え合い、学びを深め合う子」という研究主題のもと、「算数科」「特別の教科 道徳」を中心とした校内研究を進めています。子ども達同士が対話すること(伝え合い)を大切にして、「わかった!」という実感をもって深い学びにつなげられるような授業づくりをしています。「勉強はよくわかる」「思いや考えを進んで書いている」「自分の考えを話している」「話をしっかりと聞いている」という項目で、「そう思う」「だいたいそう思う」という回答が児童で90%程度、保護者で85%程度という高い結果であることは、これまでの取組の成果であると考えます。今後も、楽しくわかる授業をめざしたいと思います。

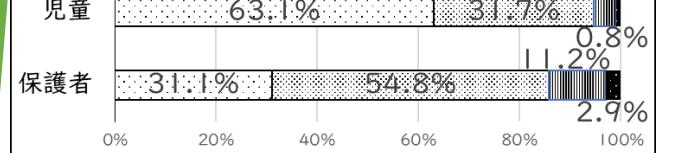


しかし、それらの項目で「あまりそう思わない」「そう思わない」という回答も見られます。進んで学習に向かうためには、「学習がわかる」ということが大切ではないかと考えます。そのために、学びタイム(毎日そうじ後の帯時間)やパワーアップデー(火曜放課後の個別学習時間)を活用したり、家庭学習で繰り返し学習したりすることで、基礎基本的な学力の定着を図っていくことを大切にしたいと考えています。さらに家庭と連携を図り、子ども達がいきいきと学べるようにしていきたいと思います。

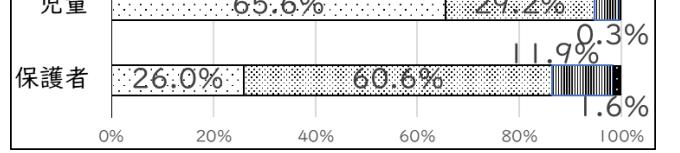
①学校は楽しい



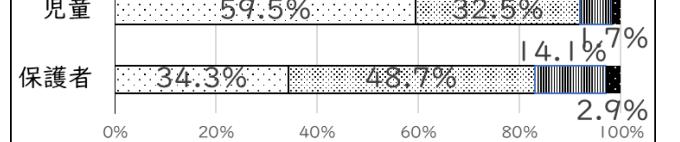
②進んで学習に取り組んでいる



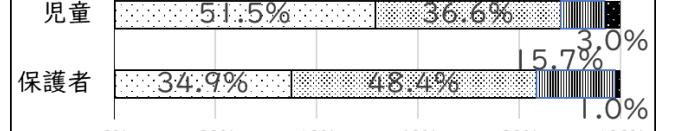
⑤勉強はよくわかる



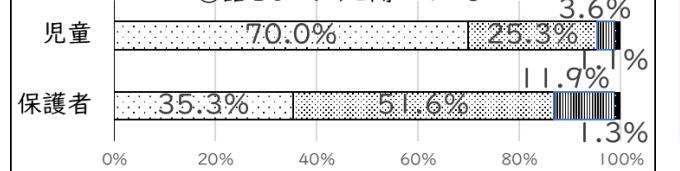
⑥思いや考えを進んで書いている



⑦自分の考えを話している

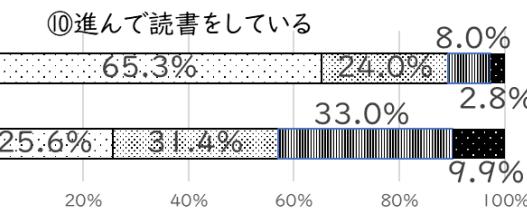


⑧話をしっかりと聞いている



本を読む習慣を大切に!

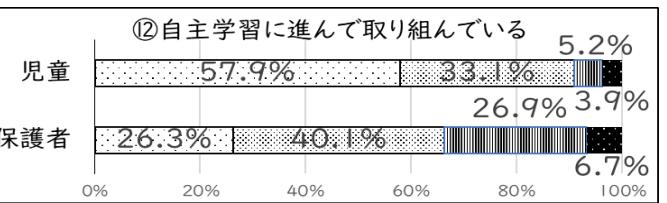
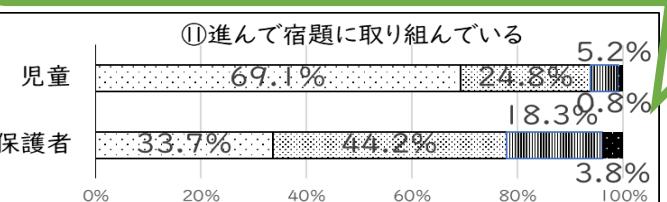
毎回課題となる「読書」ですが、今回の結果では「そう思う」「だいたいそう思う」の結果が増えました。昨年度、どの学年でも「読書100冊」を達成した子が大変多くいました。読書に意欲的に取り組んでいることが分かります。今後も読書に親しむ取組を大切にし、家庭でも読書の時間を増やしてほしいと思います。



進んで家庭学習に取り組んでいます!

毎回アンケートでは「進んで宿題に取り組む」「自主学習に進んで取り組む」の項目では、保護者の「そう思う」「だいたいそう思う」の回答が高くなっています。これは、2年前と比べると10%高い結果です。自ら進んで学習に取り組むことを大切に指導してきた成果と言えるのではないかと思います。

広沢小では、自学自習の確立のために「自主学習」に取り組んでいます。自分の関心があることを学習したり、十分でないところを復習したり、自分で考えて学習すること大切にしています。



「豊かな心」の育成に向けて

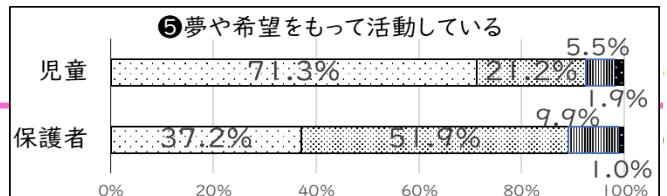
「豊かな心」を育むための取組として、毎月25日に、人権に関わるテーマを決め、「ハッピーデー」として人権学習を行っています。毎月のテーマは下の表の通りです。どのような学習をしているのか、おうちでもお話を聞いていただきたいと思います。

4月	進んであいさつをしよう
5月	友だちを大切にしよう(人権について考えよう)
6月	友だちのよいところを見つけよう
7月	マナーやルールを覚えて、楽しく安全にネットを使おう
9月	体や命を大切にしよう・各学年のテーマの学習【ハッピー参観】
10月	よさを生かして協力しよう(男女平等)
11月	友だちと助け合おう(いろいろな障害について理解しよう)
12月	自分も友だちも大切にしよう(人権月間)【ハッピー集会】
1月	相手のことを考えよう
2月	隣の国の友だちのことを知ろう
3月	成長した自分を確かめよう

また、毎年、1~6年生までの縦割りでグループを作り、6年生を中心として遊んだり活動をしたりする時間として「にこにこかよしタイム」を設定しています。1年を通して活動することで、お互いを思い合い、助け合って、仲良くなっています。

そして、日々の活動や指導も大切にし、子ども達を全教職員で見守っていけるよう研修も行っています。

その成果が、この結果として表れているのではないかと思います。



難しいことにも挑戦! 夢や希望をもって!

広沢小の学校教育目標である「未来に向かって」、「何事にもしなやかで折れない心(レジリエンス)」に関わる項目です。児童の「そう思う」「だいたいそう思う」という回答は90%を越え、保護者の回答では、2年前の結果と比べると、「そう思う」「だいたいそう思う」という回答が10%程度増えています。特に、保護者の「難しいことでも失敗を恐れずに挑戦しようとしている」という回答では、2年間で14%高くなっています。粘り強く取り組む力、困難にも立ち向かう姿勢が見られるということはうれしい結果です。

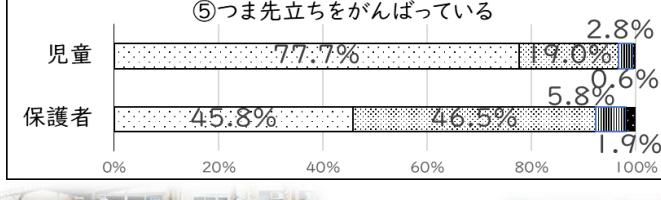
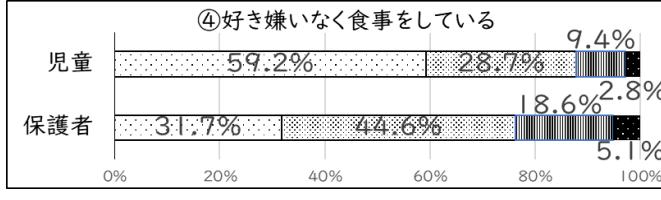
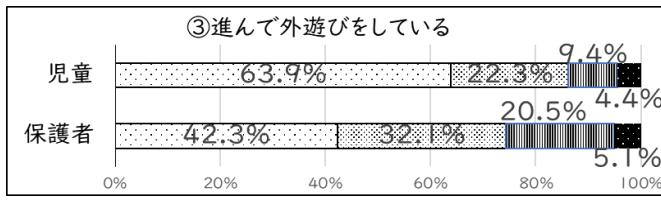
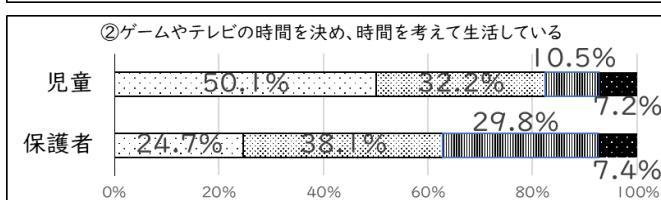
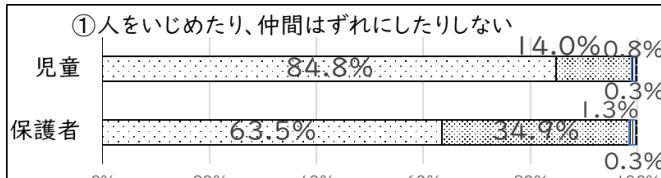


【ハッピーデー
学習の様子】
毎月テーマを決めて
学習をしています。



【にこにこなかよし
タイムの活動の様子】
6年生がリーダーとして
がんばっています。

「健やかな体」の育成に向けて



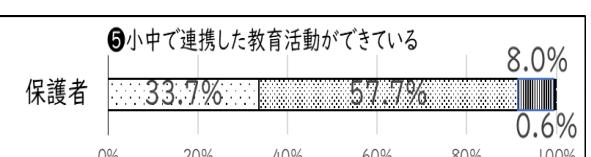
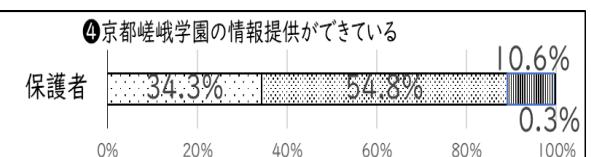
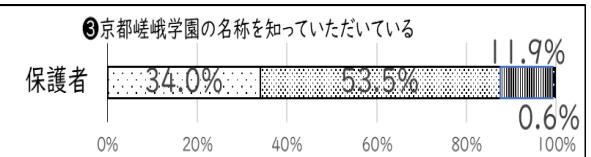
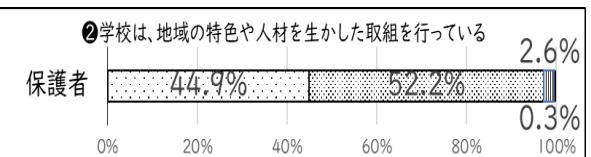
規則正しい生活習慣の見直しを!

「テレビやゲームの時間を決め、早寝早起きをして、時間を考えて生活している」という項目は、毎年課題としてあがる項目ですが、今回の結果は前回のアンケートより、よい結果でした。しかし、子ども達の様子を見ていると、ゲーム等の時間が多く、夜更かしをして眠そうにしている、家庭学習がしっかりできていないという状況が見られる子ども達もいるようです。夏の教職員研修で、「デジタル障害」についての話を聞きました。下記に話の内容をまとめていますので、ぜひ参考にしておうちで話し合ってほしいと思います。

学校では毎月「すこやか週間」を設定し、月曜:安全指導、火曜:食について、水曜:体つくり、木曜:健康について学習をしています。規則正しい生活習慣を送ること、外遊びをすること、好き嫌いなく食事をすること等の大切さについて学習し、健やかな生活が送れるように働きかけています。また、栄養教諭が年間2回、「お魚博士になろう(2年)」「和食の魅力を知ろう(5年)」など各学年のテーマで食についての学習をしています。「好き嫌いなく食事をしている」という項目では、毎年少しずつ「そう思う」「だいたいそう思う」という回答が増えています。「外遊び」については、毎年後期に結果が悪くなります。寒くても外で体を動かす機会を作りたいと思います。

健やかな体は、家庭との連携がとても大切です。学校での学習についておうちでも話し合い、生活の振り返りをしてほしいと思います。そして、朝から元気に学校に来て、1日笑顔でがんばれることができると心と体を大切にしていきたいと思います。

地域・PTA・京都嵯峨学園との連携について



【地域との連携】
「学校運営協議会」で、
地域の方と学校教職員
で連携していくように
話し合いをしています。



【京都嵯峨学園
3校交流すもう大会】
3年生以上が出場して、
白熱した大会になりました。



【京都嵯峨学園】
授業研修会で、広沢小の授
業の様子を、嵯峨中・嵯峨小・
嵐山小の先生に見ていただき
ました。



地域・PTAとの連携、京都嵯峨学園の取組の充実に向けて

コロナ禍が収束し、地域や京都嵯峨学園の3校(嵯峨中・嵯峨小・嵐山小)との連携を進めることができ、「そう思う」「だいたいそう思う」の回答率が高くなりました。地域の方々との行事や、ゲストティーチャーとしてお越しいただいて学習することができるようになりました。「京都嵯峨学園3校交流すもう大会」等、子ども達が楽しみにしていた行事をPTA・地域の皆さんのご協力で行うことができました。また、学校では京都嵯峨学園の4校で合同研修を行い、小・中学校9年間を見通した教育について考える機会がもてました。

それらの様子を保護者の皆様に情報提供すること大切にしてきましたが、そのことが成果として表れているのではないかと思います。今後も、子ども達のよりよい成長のために地域・家庭、他校との連携・協力を大切にしていきたいです。



【参考】予防医療研究所代表 磯村 肇先生の話(学校保健会右京支部研修会講演より)

脳内にドーパミンという物質が出る。ドーパミンが強く出るのは、何かに集中する時、特に中身が分からずドキドキする時。ゲームをしたり動画を見たりすると、脳内でドーパミンという物質が出てくる。これを繰り返していると、ゲームやSNS以外の弱い刺激ではドーパミンがなかなか出ない脳に変化していく。他のことをしようとしても集中しにくくなる。また、スマートフォンやゲームをしている時は、脳の前頭前野に血液が十分流れず、その動きが弱くなる。前頭前野は感情をコントロールする働きをしているので、キレやすくなり、我慢する力が弱くなる。さらに進むと、不登校や暴力、昼夜逆転などの問題が起きることが多くなり、依存症の状態になる。

だから、ゲームやスマートフォン等は子ども達に持たせない方がよい。理想的には、前頭葉がしっかり発達し自己制御力が強くなるまではスマートフォンを持たせるのを遅らせ、脳の成長を守ることが最優先なのだ。遅ければ遅いほどよい。すでに持っている子には、強制力のない約束ではなく、スクリーンタイムなどある程度強制力が働く方法をとる必要がある。子どもには、子ども本来の成長を促したい。だから、子どもにはできるだけ外で遊んでほしい。雨の日にはぜひ読書をしてほしい。

学校に詳しい冊子をいただきました。貸出しますので、学校までご連絡ください。

学校運営協議会理事会でのご意見

- 学校を楽しいと思っていない子が数%いるのが心配。子ども達自身が相談しやすいように、工夫ができるといいのではないか。
- 学級の人数がもっと少なければ、担任の支援もしやすく、学習の定着を図ることができるのではないか。学校での支援や学習指導の充実が図られると、学力を伸ばすことができると思う。先生の数を増やし、先生は児童に関するのみに力を注ぐことができるようになるとよい。
- ゲームなど時間が長いのは、学校や家庭で、子ども達と一緒にルールを相談して作り、自分で守っていけるようにしていかなくてはいけないのではないか。時間制限をする等、家庭で対策を考えた方がよい。

